

2022年度に、豊橋技術科学大学 将来ビジョンを策定しました。

本学は、技術科学の教育・研究を使命とし、これまでに多くの技術者・研究者を輩出するとともに、研究、技術開発、産学連携等を通じて社会に貢献してきました。しかし、大学を取り巻く社会情勢は大きく変化しており、大学がそのミッションを遂行するためには、情勢を的確に把握し、変化に適切に対応していく必要があります。

将来ビジョンでは、本学の基本理念とこれまでの歩み、社会情勢を踏まえつつ、10年後の目指すべき大学像及びこれを実現するための重点戦略を掲げています。

全ての教職員がこのビジョンを理解し、知恵を出し合いながら、実現に向けて取り組んでいきます。

※技術科学とは
技術を支える科学の探究によって新たな技術を開発することで、
次代を切り拓く研究成果の創出と社会実装を推進し、人類社会の持続的発展に貢献します。

技術科学戦略 15の重点戦略

1 / 教

1

Key Str

5 /

大学のリソース
を活用した組織と
経営力の強化

4 /

多文化、多様性を
尊重し、共生できる
活力あるキャンパス
の実現

5

【重点戦略14】 大学のリソースの拡充と活用による組織と経営力の強化

【重点戦略15】 施設及び設備の戦略的な整備

4

【重点戦略12】 多様な経験を有する学生の受け入れとキャンパス活動支援の充実

【重点戦略13】 学生への教育、キャリア支援、経済的支援の充実

SDGs取組方針と重点課題を策定

豊橋技術科学大学は、社会的ニーズに応える研究を牽引できる人材を育成し、研究成果の社会実装を進めることで人類社会の持続的発展に貢献することを大学の使命としています。この使命を果たすため、2023年3月にSDGs取組方針を策定し、5つの重点課題を定めました。

【本学で取り組む主要なSDGs】



詳しくはこちら



豊橋技術科学大学の使命と目指すべき大学像(ビジョン)

大学の使命

実践的な技術の開発を主眼とした工科系大学として、社会的ニーズに応える研究を牽引できる人材を育成し、研究成果の社会実装を進める事で人類社会の持続的発展に貢献します。

チャレンジし続ける大学

劇的な変革に直面する現代社会において、産学連携、社会と連携した教育など大学教育に新機軸を導入してきた大学として、これからも大胆な挑戦を続け、社会の変革に即応できる人材を養成する大学を目指します。

地域や高専と共に歩む大学

開学以来、密接な関係にある地域社会、主たる学生の輩出元である高等専門学校との連携を高い次元に引き上げ、高等専門学校が立地する地域をも含めた共創の取り組みを深化させて、地元及び高専と共に歩む大学を目指します。

育

2
研究

3
社会との
共創

1

- 【重点戦略1】 学生の創造力を伸ばす教育プログラム等の導入
- 【重点戦略2】 高専生、社会人が切れ目なく学べる教育プログラムの充実と発展
- 【重点戦略3】 CPS技術を駆使した革新的デジタル実装教育プログラムの導入
- 【重点戦略4】 社会との密接な連携による社会実装力を高める教育プログラムの強化

2

- 【重点戦略5】 重点研究領域を設定し、学内外による研究チームを組織した研究を推進
- 【重点戦略6】 高専及び地域産業界と連携した研究成果の社会実装と実用化の推進
- 【重点戦略7】 学内外の研究者や学生による自発的研究促進の環境を整備し、新しい構想による研究開発の芽を育てる
- 【重点戦略8】 大学院生を研究者と位置づけた研究活動支援策の拡充

3

- 【重点戦略9】 地域共創プラットフォームの構築による地域の活性化
- 【重点戦略10】 高専との連携による地域経済好循環への貢献
- 【重点戦略11】 国際ネットワーク構築と国際サテライトオフィスを活用したグローバル活動の強化

詳しくはこちら→



キャンパスマスタープラン2022

開学45年が経過し、大学を取り巻く社会情勢は大きく変化しており、多様な経験や文化的背景、性別、国籍、能力をもつ学生が共に学び合い、学生の創意・発意に基づく学生生活や、活力に富んだ充実した学生生活を送れるキャンパスはもとより、地域・産業界に開かれた活気あふれるキャンパス、さらには社会的要請でもあるSDGs実現のためカーボンニュートラルを考慮したキャンパスづくりが必須となっています。本学が目指すべきキャンパスの将来像を描くものとして、また今後の施設整備をさらに良い形で推進するため、キャンパスマスタープラン2022を策定しました。



詳しくはこちら

